

「スラムドッグ\$ミリオネア」

祝アカデミー賞8冠

キャンペーン中...



Quantel <http://www.quantel.co.jp/campaign/>

# 映像新聞

平成21年(2009年) 3月9日 第1895号

株式会社 映像新聞社

Weekly THE EIZOSHIMBUN  
(VISUAL COMMUNICATIONS JOURNAL)

〒112-0006 東京都文京区小日向1丁目24番8号エイゾービル

電話: (03) 3942-2161 (代) / ファクス: (03) 3942-2581

昭和42年1月25日 第3種郵便物認可 郵便振替: 00140-0-65786

1部630円、年間購読料27,300円(税込)

©映像新聞社

毎週月曜日発行(月4回発行)

## 画像圧縮復元技術を発表

### 新宿・バルト9で実演上映

#### デジタルアクト

京都市に本社を置くITベンチャー企業のデジタルアクトは2月19日、画像圧縮復元技術「ファンタビクス」の発表会を、東京都新宿・バルト9で行った。告知も、デジタルシネマ部隊とサイネージ部隊が連携した形の一つだ。

「厳しい環境の中で、どの企業も広告を絞っているが、売り上げを伸ばすための販促費は相応に確保するだろう。広告は多様化して、即効的に売り上げに結びつく方向へシフトする。サイネージは、顧客に必要な情報を提供する有効な手段として認識が高まると思われる。映像制作、見せる仕組みの構築は、当社が得意な分野だ。今後も積極的にお手伝いしたい。」



MA3

を設置した。コンソールはヤマハ製

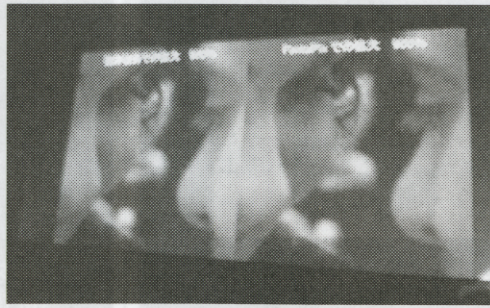
「DM20 ティックス製。天井高の不足をカバーできる広々としたクライアントスペースも備えている。MAは設計が日東紡音響エンジニアリング、施工は報映産業。編集できる。三隅研二社長は、「周囲からは『経済が低迷してソールを前』こんな時によく(設備拡充を行った)」と言われる。スタッフの力量や顧客の支持、TYOグループの力を支えに、前向きに取り組みたい」と話している。



斉藤社長

宿区のバルト9で開催した。ファンタビクスは、オリジナルの圧縮度まで容量を縮小できる可逆圧縮技術と、

復元時の近似線技術を使ってサブピクセルを補整する独自のピコピクセル化技術により、ジャギーやモザイク感の少ないク感の少ない高品位な映像配信や上映が可能となる。今回のイベントでは、技術概要の発表と合わせて、同技術を利用して制作した映画『ラ・ホエーム』(配給:東京テアトル、スターサンス)を紹介。映像の滑らかさについて解説した。同社の斉藤和久社長は、「デジタル配給・上映が進



ファンタビクスを使った映像を600倍に拡大し、通常の映像と比較する実演を行った

## オスカー受賞作品のDI制作 「QColor」を活用

### クオンテルが記念販売も



「スラムドッグ\$ミリオネア」

『スラムドッグ\$ミリオネア』(タニー・ホイル監督)が、米アカデミー賞で作品賞・監督賞など、8部門でオスカーに輝いた。この作品のDI制作は、英国・ロンドンのMPC (Motion Picture Company) がクオンテルの「QColor」を活用して行った。

同作品は、フィルムによる撮影に加え、デジタルキヤプチャーの素材が混在。また、多くのショットでマルチレイヤー合成が行われ、グラフィックスやタイトルリングの作業もあった。そこに、クオンテルのiQに備えられた複数解像度共存技術が生かされた。

なお、クオンテルでは、今回の受賞を記念して、QColorオープンションを特別価格で販売するキャンペーンを実施している。